

# 有害プランクトン情報（１）

平成２６年４月１５日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター  
豊前海研究所長

４月１５日に苅田漁港と稲童漁港において有害プランクトン調査と貧酸素調査を行った結果、両漁港内で有害プランクトンのカレニア・ミキモトイの増殖が認められました。

## < 有害プランクトンの状況 >

- 苅田漁港内でカレニア・ミキモトイの増殖（底層で海水１ｍ中に３５細胞）が認められています。
- カレニア・ミキモトイは、数千～１万細胞で魚介類に被害を及ぼします。
- 本種は、増殖初期は中層（主に５ｍ層前後）で増殖する性質を持っていますので、海面からの観察では海水の着色が判別しにくい種類です。

## < 貧酸素の状況 >

- 貧酸素は発生していませんでした。
- なお、酸素濃度は、およそ３０％以下で魚介類に影響を及ぼし、１０％以下でへい死する恐れがあります。

## < 今後の状況 >

- 今後、晴天が続いた場合、赤潮や貧酸素が発生する恐れがあります。
- ４月から本種の増殖が確認されることはまれであり、魚介類への影響を回避するために、漁獲後、早めの出荷をお願いします。
- 研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報に十分ご注意下さい。

※ 漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所（０９７９－８２－２１５１、担当：俵積田、大形）までご連絡下さい。

4 月 1 5 日 調 査 結 果

| 採水場所 | 採水層<br>(m) | 酸素濃度<br>(%) | 水温<br>(°C) | 塩分    | カニア・ミキモイ<br>(細胞数/海水1ml) |
|------|------------|-------------|------------|-------|-------------------------|
| 苅田漁港 | 0.5        | 105.1       | 16.0       | 29.33 | 10                      |
|      | B-1        | 103.0       | 15.6       | 29.18 | 35                      |
| 稲童漁港 | 0.5        | 101.6       | 16.4       | 28.4  | 1                       |
|      | B-1        | 99.0        | 15.1       | 31.61 | 12                      |